

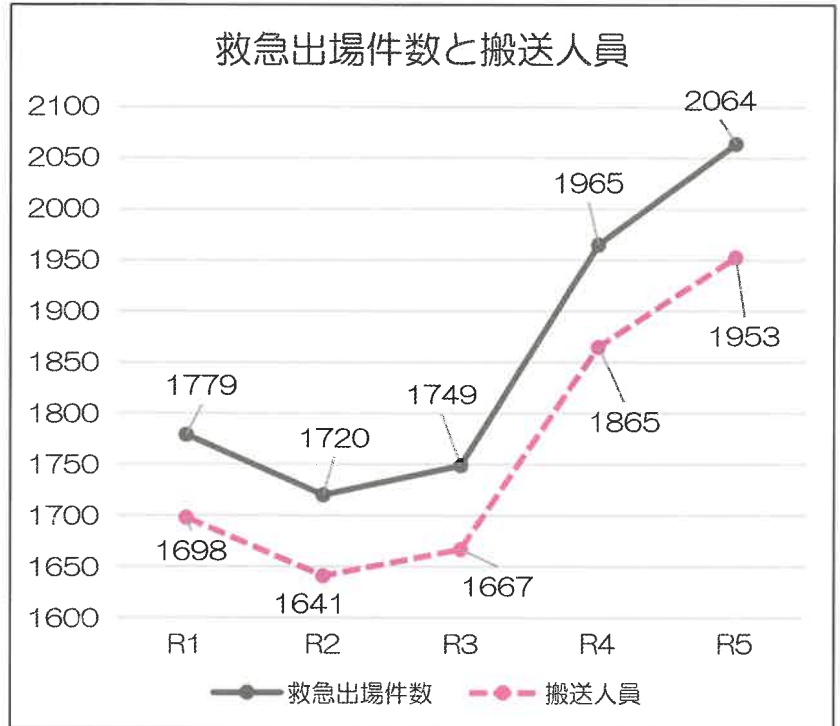
地域医療情報紙

長門市の救急搬送が増加しています

長門市の令和5年救急出場件数は2,064件（前年から99件増）で搬送人員は1,953名（前年から88件増）となり、救急出場件数・搬送人員ともに過去最高件数でした。

この急増の主な原因は、急な疾患や怪我によるものです。特に「高齢者が転倒して負傷した」といったケースが目立っています。

このまま救急搬送が増えていくと、救急車の台数や救急医療機関は限られているため、必要な人に迅速に対応できなくなるなど大きな問題となってしまいます。



年	R1	R2	R3	R4	R5
一般負傷の搬送人員	301名	290名	314名	337名	359名



救急搬送を減らすためには、病気やけがなどを予防する日ごろの健康管理が重要となります。そこで、長門市では、高齢者の転倒予防を目的とした講座など様々な『健康講座』を開催していますので、参加してみたいはいかがでしょうか。

あわせて、急な病気やけがをしたときは、「#7119」（救急医療電話相談・24時間受付）や「#8000」（こどもの救急医療電話相談・15歳未満対象・19時～翌朝8時受付）に電話することで、「救急車要請助言」、「受診助言」、「医療相談対応」、「処置方法助言」、「医療機関案内」などのアドバイスが受けられますので利用しましょう。



これって現代病 知覚過敏

田中歯科医院 医院長 田中克典

冷たいものを食べるとキーン、甘いものをたべるとズキッ、歯がしみるって、とてもつらいですよ。知覚過敏は、歯の外側をおおっている硬いエナメル質が、欠けたり、割れたり、削れたりすることによって刺激が神経に伝わって起きる症状です。

かつてない長寿社会の中、歯も耐久性が求められるようになりました。歯は数十キロの噛む力がかかるので、長く使えばヒビが入ったり、欠けたり、すり減ったりします。また日々のストレスで歯ぎしり、食いしばりの癖のある方は、寝ている時など無意識の内に行うことが多く、知覚過敏が起こりやすくなります。

軽度の知覚過敏は、生活習慣を見直して、自然の治癒力で（唾液が歯を補修したり、防御反応で歯の象牙質の入り口を塞いだり、象牙質を増やしたりします。）治ることもあり、この段階でしみなくなるのが理想です。

まずは、生活習慣の見直しから試し、治らない時は歯にコーティングしたり、プラスチックを詰めたりします。重度のケースでは神経をとる事もあります。自然治癒力を促すために、生活の中に隠れたリスクを発見、改善していきましょう。

代表的なリスクとしては

- 歯ぎしり、食いしばりをしていませんか？
- 毛先の硬い歯ブラシでゴシゴシ磨きをしていませんか？
- ヤニ取り歯磨きなど、研磨剤がたくさん入っている歯磨き剤を使っていませんか？
- 酸っぱい物を取りすぎていませんか？
- スポーツ飲料を飲み過ぎていませんか？
- お口の中がパサついていませんか？
- 唾液の出にくくなるお薬を飲んでいませんか？ などがあります。

知覚過敏



知覚過敏があると、歯みがきがつらいので、痛いところは歯磨きをしない方もいらっしゃると思いますが、歯みがきをしないと知覚過敏の症状を助長します。高濃度フッ素歯磨き剤を使用し、可能な範囲でいねいな歯磨きは続ける事で、いつの間にか症状が落ち着く事も多いです。



医薬品不足について

長門薬剤師会 青海薬局 中村竜三

市民の皆様、平素より長門薬剤師会ならびに薬剤師の活動にご理解、ご協力賜り感謝申し上げます。

さて3年ほど前に起きた抗真菌薬への睡眠薬混入事件に端を発した製薬メーカーの不正製造の発覚により、現在もなお医薬品の不足が続いています。当初はこのメーカーだけの不正で大した影響が出るとは思ってはいませんでした。次から次へと他メーカーの製造過程の不正による医薬品の回収、製造中止などが起こり、時間が経つにつれ深刻さを増してきております。日本薬剤師会の調査では全国の薬局において一年前に比べて医薬品の供給状況が悪化していると感じている薬局が86%にもものぼるとされています。最近ではテレビで取り上げられることもあってか患者さんの方から「今咳止めがないんでしょう?」と言われることもあります。今までは卸に注文すれば当日、もしくは翌日での入荷が当たり前でしたが、中には1~2週間もかかるものや、月あたりの納入量が決められ、必要な量が足りなくなるもの、何故か全く納入されなくなるものなど以前では考えられないような医薬品も増えてきています。卸の方も薬局の数倍は大変になっていると思われ、未納品の連絡があまり無いので、こちらから常に納入状況を卸にチェックしていかないと「なんでこれしか在庫がないんだ~」なんて状態に陥ります。在庫が足りるか足りないかギリギリの時は「あの患者さんはまだ来ないからこの薬はあと何日は大丈夫」「この薬は明後日までには入荷しないとヤバい」など常にハラハラ・ドキドキして一番精神的に堪えます。

医薬品不足あるある4コマ



しかしながら「薬剤師は国から付託された資格に基づき、医薬品の製造、調剤、供給において、その固有の任務を遂行することにより、医療水準の向上に資することを本領とする。」という薬剤師としての職責を全うするため、今後も引き続き医薬品の確保に努力してまいりたいと思います。

最後にまだまだ新型コロナウイルスをはじめ、インフルエンザ、溶連菌、咽頭結膜炎などと、感染症の流行も続いておりますので市民の皆様には健康に十分ご留意ください。

地域医療を担う人材の育成と確保に向けた取り組み

人口の減少、職業意識の変化、医療に求められることの多様化に加え、医師等の偏在化などを背景として、医療機関における医療従事者の確保は大きな課題となっています。特に長門市では少子高齢化が進んでおり人材の確保は困難な状況にあります。

そこで、長門市では人材確保のため、①「長門市医療・福祉系人材確保事業費補助金」、②「やまぐち地域医療セミナー」などの事業に取り組んでいます。

①の事業は、将来を支える専門人材の確保と若者の市内定着を図るため、大学等を卒業後に市内で医療・福祉分野の専門的職業として就職し、本市に定住しながら、奨学金の返還を行う方への支援制度です。

②の事業は、山口県の地域医療を担う医療機関において地域医療を体験し、地域の生活環境を実感することで、医学生・看護学生等の地域医療マインドを高め、もって、地域医療の分かる医療人の育成を図る事業です。今年度から高校生にも参加募集を始めました。本市では、8月9日から8月10日の2日間行い、10名の学生が参加されました。

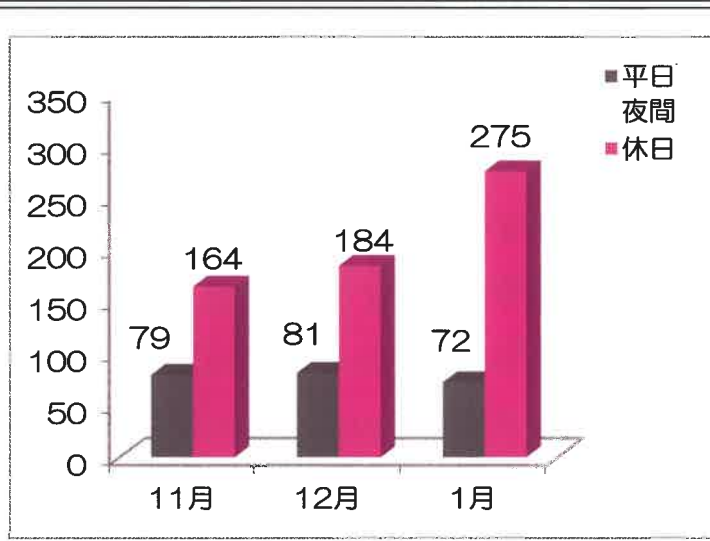


やまぐち地域医療セミナーの様子

人材確保が難しいなか、医療従事者の負担軽減のためにも、コンビニ受診をせずできるだけ診療時間内に受診するよう、皆様の協力が必要となります。

長門市応急診療所の受診状況

(休日昼間、平日夜間の初期救急患者)



1日当たり患者数 ()内は前年の患者数

	11月	12月	1月
休日	27.3 (18.7)	30.7 (36.2)	34.4 (42.8)
平日 夜間	4.0 (2.4)	3.9 (5.0)	3.8 (4.1)



長門市応急診療所

受診される際は、感染症予防のため事前に電話をお願いします。

電話 0837-27-0199

この情報紙へのお問い合わせ等は下記へお願いします。

■編集事務局 長門市健康福祉部
健康増進課 地域医療連携室

TEL : 0837-27-0255

FAX : 0837-27-0266

※この情報紙の既発行分は、市のホームページに掲載しております。

<http://www.city.nagato.yamaguchi.jp/soshiki/12/1092.html>

E-Mail : chiikiiry@city.nagato.lg.jp